

授業概要

生活科は、「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を」育成することを目標として指導する。本科目においては、講義だけでなく実際に模擬授業を行うことにより、生活科の教科としての意義と特質についての理解を深める。また、三つの資質・能力の柱、9つの学習内容を把握した上で、気付きの質の向上目指した適切な指導法を選ぶとともに、評価と結び付けて考えていく。特に活動を通して思考する低学年児童の特徴を踏まえ、児童の思いや願いに即した指導ができるよう、指導と関連付けた授業を進める。

授業計画

第1回	ガイダンス、生活科新設の経緯
第2回	教科目標と学年の目標
第3回	生活科の内容①
第4回	生活科の内容②
第5回	指導計画作成上の配慮事項
第6回	内容の取扱いについての配慮事項
第7回	指導計画の作成と学習指導
第8回	ICTの活用
第9回	生活科の評価
第10回	指導案の作成、略案・細案の書き方 略案の作成
第11回	模擬授業① グループワークを通して1人1回模擬授業を行う
第12回	模擬授業②
第13回	模擬授業③
第14回	模擬授業④
第15回	振り返り
第16回	試験 模擬授業の細案の提出

到達目標

1. 学習指導要領における目標及び内容を踏まえた上で、生活科は遊びなど具体的な活動を通して気付きの質を高め、自立し生活を豊かにしていくための学習であることを理解し、そのための基本的な知識・技能（ICT機器の活用を含む）の習得ができる。
2. 気付きの質を高める実習を工夫したり、児童の特徴である思考と表現の一体化を踏まえた授業づくりをしたりするなど、実践的指導力の基礎を身に付けることができる。
3. 将来小学校教員として児童の多様性を進んで理解しようとする態度や、授業に活かすように自ら学んでいく姿勢を身に付けることができる。

履修上の注意

予習・復習

学習内容に関する学習指導要領の内容を事前に読んでおく（週1時間）。模擬授業では、模擬授業の略案の作成（計3時間）を行うとともに、自分自身や他の履修者が行った授業について振り返りを行う（週1時間）。

評価方法

各回の授業後に提出する振り返りシート（25%）、模擬授業（35%）、試験（40%）

テキスト

学習指導要領：小学校学習指導要領解説-生活編-
その他、参考文献については適宜紹介する。